

島根県出雲市では

きゅうり

の担い手を募集しています！



出雲のきゅうりとは

- 出雲市のきゅうりは、すべて施設内の土耕で栽培されています。2月から定植が始まり、出荷期間は3月～12月です。
- きゅうりは、地元市場を中心に山陰各地の市場へ出荷され、鮮度の良さから好評です。
- 近年は、若い生産者が加わり、生産量が増加しています。



求める人物像

- ・ 出雲市に移住し、就農を目指す方
- ・ 18歳～50歳までの健康な方
- ・ 本気で就農を目指し、家族などの周りの方の理解・協力を得られる方
- ・ 地域活動に積極的に参加できる方
- ・ 収入を得られるまでの生活費とは別に、300万円程度の自己資金を準備できる方（目指す経営規模によって幅があります。）



就農までの流れ

農林大学校を活用した自営就農パターン

- しまね定住財団の産業体験事業（3か月～1年）を活用し、出雲市の農家のもとで農業体験を行った後、農林大学校で専門的な研修を受けることができます。

就農相談

産業体験
(3か月～1年)

島根県立農林大学校
(短期養成コース1年 or 農業科2年)

自営就農

《研修科目》
農業機械 農業機械演習 土壌肥料
農業経営 マーケティング概論 農業簿記
各種専門科目 など

雇用就農から自営就農するパターン

- しまね定住財団の産業体験事業（3か月～1年）を活用後、農業法人のもとで雇用就農し、栽培技術や経営知識を学んで自営就農を目指すこともできます。

就農相談

産業体験
(3か月～1年)

雇用就農（1年～）

自営就農

※雇用で働きつつ、独立・自営を目指す
ことができます。

きゅうり栽培の経営モデル（就農5年目）

経営面積	施設（パイプハウス）： 20a ※3.3aハウス×6棟
農業所得	販売額1,089万円、支出842万、所得247万円（就農5年目）
設備投資額	約5,600万円（うち2,100万円は自己資金又は借入金） ※県事業を活用したハウス建設を想定
年間総労働時間	3,221h（家族労働力1人＋パート雇用）

- ・補助金や無利子資金を活用
- ・ハウス加温/無加温の複合栽培。パート雇用が必要。

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

※農業経営では、天候等の気象条件や経営者の技術レベルによりこれらの値は変わります。

※ハウス資材等の高騰や農産物の販売価格の変動によって、経営費や収益が変動する場合があります。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
半促成栽培								抑制栽培			
▲	—	■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■	▲	—	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■
定植				収穫			定植		収穫		

移住・就農支援

研修・就農補助

産業体験（3か月～1年）、就農後（最大5年）に必要な経費を助成する制度があります。

- ・UIターンしまね産業体験事業
-体験助成 12万/月 最大1年間
- ・経営開始資金
-就農後 150万/年 最大3年間

農地

研修中や雇用先で働きながら、地域の空き農地（就農候補地）を探します。

空き農地の確保にあたっては、地域の関係機関で構成するサポートチームで支援します。

施設・機械

新規就農に必要な農機具・施設等の初期投資を補助する支援制度があります。

- ・新規就農者整備支援事業等
-施設整備等費用の1/3助成

住居

- ・「いずも空き家バンク」にて空き家情報等を掲載しています。
- ・移住支援制度として、住宅の建築、購入、又はリフォームの際に活用できる助成事業があります。詳しくは市までお問い合わせください。

教育・周辺環境等

- ・保育所・園57、幼稚園25、小学校33、中学校14、高校8
- ・市内に総合病院あり
- ・【空港】出雲市縁結び空港
- ・【JR】出雲市駅他7駅
- ・【高速道路】斐川IC、出雲IC、出雲多伎IC

出雲市HP



[いずも暮らし | 島根県出雲市 \(izumonomakurashi.jp\)](http://izumonomakurashi.jp)

お問い合わせ

出雲市農林水産部 農業振興課斐川農業事務所
同 農業支援センター
島根県東部農林水産振興センター出雲事務所

（電話）0853-73-9220
（電話）0853-21-6774
（電話）0853-30-5600

就農支援

移住支援